

旋 盤 加 工 技 能 ク リ ニ ッ ク

～訓練コースの改善と訓練コースのパッケージ化～

従業員類型別教育訓練コース

及び教材開発プロジェクト

## 序 文

この報告は、従業員類型別教育訓練研究の初年度に取り上げたテーマである  
"中年期のための向上訓練コース開発"、第二年度のテーマである"旋盤加工技能クリニック"研究の続編である。

本研究は生産現場における従業員の性質にしたがって、訓練ニーズをとらえ、訓練方法、カリキュラム、教科書、教材などを含め、訓練コースをシステムとして設計することを目的としている。

初年度は、「旋盤加工技能クリニック」コースの有効性を調査し、地域企業に受け入れられることを明らかにした。

次年度は、訓練コースの実践を行い、中高年の機械加工技能者にOff-JTの教育訓練として行われるとき、OJTだけでは得られない飛躍的な向上の手がかりを提供できることを明らかにしている。

今年度は、開発した訓練コースが一施設でのみ実施されるのではなく、全国どここの訓練施設でも開設可能なものとして、訓練コース開発の考え方から教材開発に至るまでを標準化し訓練コースのパッケージ化を行った。

なお、当研究センターは職業訓練の現場を支える実践臨床的な研究を行うべく努めており、本研究もその一環として山梨技能開発センターと共同研究を行った成果である。御一読いただき向上訓練担当の諸先生方からのご意見ご批判を切にお願いするとともに、少しでも多くの訓練施設で「旋盤加工技能クリニック」コースパッケージを利用して下さるようお願い申し上げます。

最後に、当プロジェクト研究に対し、全面的な協力、バックアップして下さいました、山梨技能開発センターの所長はじめ職員の方々に心からお礼申し上げます。

平成元年2月

職業訓練研究センター

所長 多賀谷敏夫

# 研究メンバー

## 1.研究委員

渡井 道輔（茨城雇用促進センター 業務第一・二課長）

大崎 晃（山梨技能開発センター 機械科）

相川 文英（山梨技能開発センター 機械科）

堀 誉始晴（山梨技能開発センター 機械科）

## 2.職業訓練研究センター

### 開発研究部

鈴木 誠八（開発研究部第二部長）

坂本 政久（建設木工系訓練研究室室長）

柿栖 昇（建設木工系訓練研究室研究員）

八木 高行（手工職種系訓練研究室研究員）

### 基礎研究部

戸田 勝也（訓練適応研究室室長）

小原 哲郎（訓練需要研究室研究員）

北垣 郁雄（訓練教科方法研究室研究員）